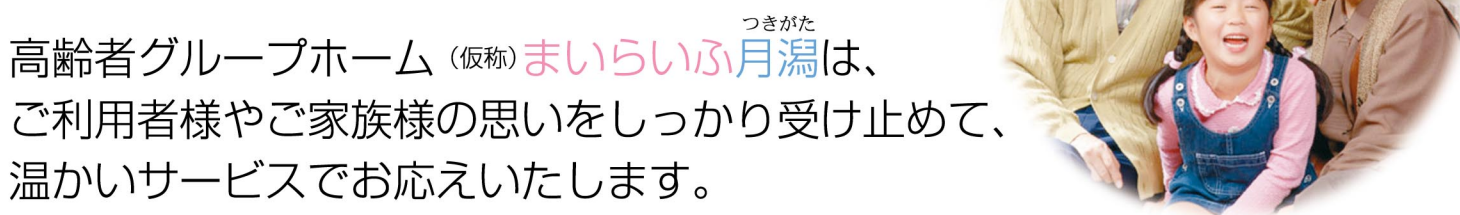




一人ひとりに まごころ こめて…

デイルーム

明るく清潔なデイルームで、食事作りも、みんなと一緒に。



高齢者グループホーム（仮称）**まいらいふ月湯**は、
ご利用者様やご家族様の思いをしっかりと受け止めて、
温かいサービスでお応えいたします。

理事長あいさつ

社会福祉法人遊生会では、「お年寄りの笑顔は地域の笑顔」をモットーに地域密着型介護サービスに重点を置いた施設の展開を図っております。

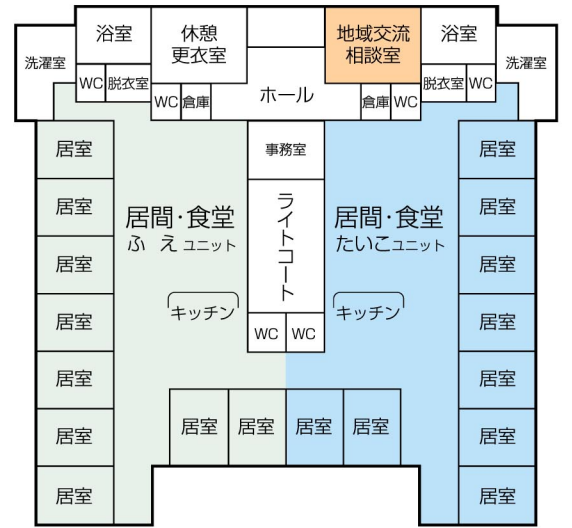
高齢者が、介護が必要になっても住み慣れた土地で安心して暮らせることは、次の世代にとっても、地域を愛し、地域の発展を願い、地域への定着を考える上での大きな目安となるにちがいありません。その意味でも、認知症に苦しむ高齢者を対象に24時間365日途切れることなく専門的介護サービスを提供するグループホームは、地域活性化のための最も重要な社会的インフラの一つと言えるでしょう。

（仮称）**まいらいふ月湯**は、職員一同心のこもった介護に努め、ご利用者様はじめ、ご家族様、地域の皆様方のご期待にお応えすべく大いにがんばりますので、何卒ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 遊生会 理事長 水野 哲馬

いつものように自分らしく、
そして安心して暮らせる「住まい」がここに。

施設平面図



自分だけのプライベートな生活空間。
ダンスやテレビなどの持ち込みもご自由に。

グループホームとは？

介護が必要な認知症のお年寄りが、**少人数・家庭的な環境（1ユニット定員9名）**のホームで介護スタッフの見守り支援を受けながら共同生活を送ります。

完全個室制なので、**プライバシーもしっかり守られています**。食事づくり、そうじ、洗濯などの家事、散歩、花壇や菜園の手入れ…など、ご利用者様はそれぞれの能力に応じて、できるだけ**これまでと同じ日常生活を継続します**。住み慣れた地域でのゆったりとして穏やかな毎日を過ごす中で生活への自信を取り戻し、生きがいを実感、結果として**認知症の症状がやわらぎ、進行が緩和**されることが期待されています。

グループホームをご利用できる方

- 新潟市内に在住の65歳以上の認知症の高齢者で、要支援2または要介護1～5に認定されていること。
 - 徘徊や物盗られ妄想、その他、認知症であることから来る様々な行動・心理症状のために、家庭での介護が困難であること。
 - おおむね身の回りの自立ができていて、少人数の共同生活を送ることに支障のないこと。
- 以上の条件に該当する方です。



お風呂でのんびり、さっぱりと。
身体の不自由の方の入浴にも対応。



地域住民との交流を大切にして、
地域に開かれたホームを目指します。

ご利用の手続き

- ① **ご相談 お申し込み** 担当ケアマネージャー又は病院、施設の相談員にご相談ください。直接お申し込みいただくこともできます。
- ② **面接** （仮称）「まいらいふ月湯」の担当者が訪問して、お話を伺います。
- ③ **入居判定** 入居の可否を当グループホーム判定委員会において判定し、直接ご連絡いたします。
- ④ **入居** 入居手続きを行います。
①介護保険証 ②医療保険証、国民健康保険被保険者証、高齢受給者証(70歳～74歳)、後期高齢者受給者証(75歳～) ③障害者手帳・特定疾病療養受療証(該当の方) ④印鑑 ⑤かかりつけの医師の診断書 をご持参下さい。
(①～⑤は手続き終了次第その場にて返却いたします。)
※なお医療保険証の毎月確認、介護保険の必要時確認、変更時確認のため、保険証の持参をお願いすることもあります。

笑顔 思いやり 気づきの介護

笑顔のあるところには心の窓が開かれます。思いやりのあるところには安心と信頼が生まれます。
気づきのあるところには理解が深まります。

まいらいふ月湯は建設中につき、写真は「他のグループホームまいらいふ」の施設内をイメージとして掲載しました。